

## にじゅうだい つうかん 20代になって痛感すること

URL : <https://youtu.be/g2iPAa9cpcM>

こんかい にじゅうだい つうかん まな にほんご べんきょう  
今回は「20代になって痛感すること」を学びながら、日本語を勉強しまし  
う。  
この動画は、どうが ぜんはん すこ はんじ  
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があり  
ます。  
こうはん すこ はや かんじ がくしゅう やくだ  
後半は少しだけ速くなり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立て  
ください。

### じこ しょうかい ■自己紹介

わたし なまえ かわしま ゆうた しゅっしん ひょうごけん いま にじゅうごさい かいしゃ はたら  
私の名前は川島優太です。出身は兵庫県です。今は25歳で、会社で働いてい  
ます。  
だいがく そつぎょう とうきょう ひっこ ひとりぐ さび とし  
大学を卒業したあと、東京に引っ越してきました。一人暮らしは寂しい時もあ  
りますが、すこ にな  
少しづつ慣れてきました。  
わたし にじゅうさい とき いちばんつよ おも こ  
私が20歳になった時、一番強く思ったことは、「もう子どもじゃないんだ」  
という気持ちです。  
いま にじゅうだい すうねん た せいかつ しごと な おも  
今は20代になって数年経ちました。生活にも仕事にも、慣れてきたと思いま  
す。  
なか なか まな かね つか かた ひと  
でも、その中でたくさんのことを学びました。たとえば、お金の使い方や、人  
とのつながりについてです。  
たの しっぱい  
楽しいこともありますが、失敗することもあります。  
にほん い わか ひと かんが すこ かん  
日本で生きる若い人たちがどんなことを考えているかを、少しでも感じてもら  
えたらと思います。

### にじゅうさい ふしめ ■20歳という節目

にほん にじゅうさい ほうりつじょう せいじん あつか  
日本では、20歳になると法律上「成人」として扱われるようになり、それに  
ともな けんり せきにん あた  
伴ってさまざまな権利と責任が与えられます。  
たとえば、アルコール類の飲酒や喫煙が法的に認められるのはにじゅうさい  
です。  
さけるい こうにゅう ちゅうもん さい ねんれいかく  
コンビニやレストランなどで酒類を購入したり注文したりする際には、年齢確  
にん もと  
認が求められることもあります。

にじゅっさいいじょう みぶん しやうめいしよ ねんれい かくにん もんだい こうにゅう ちゅうもん  
20歳以上で、身分証明書などで年齢が確認できれば、問題なく購入や注文が  
できます。

にじゅっさい おや どうい いちにん けいやく むす かのう  
また、20歳になると、親の同意がなくても一人で契約を結ぶことが可能にな  
ります。

けいたい でんわ けいやく ちんたいけいやく もう こ じ  
携帯電話の契約やアパートの賃貸契約、クレジットカードの申し込みなども自  
分の判断で行うことができますようになります。

じゆう ど ま いっぽう けいやくないよう りかい せきにん こうどう  
自由度が増す一方で、契約内容をよく理解したうえで責任ある行動をとること  
が求められます。

せんきょけん かん にせんじゅうろくねん ほうかいせい じゅうはっさい みと  
選挙権に関しては2016年の法改正により18歳から認められるようになり  
ました。

おお ひと にじゅっさい き せいじ かんしん も じぶん いし しゃ  
しかし、多くの人々が20歳を機に政治への関心を持ちはじめ、自分の意志で社  
会に参加する自覚を持ちます。

にほん にじゅっさい ねんれい じりつ おとな だい  
このように、日本における「20歳」という年齢は、自立した大人としての第  
一步を意味する特別な節目とされています。

じゆう ひろ ぶん じこ せきにん おお  
自由が広がる分、自己責任も大きくなります。

## ■自由と責任

にじゅっさい いちばん か じぶん き ふ  
20歳になって、一番変わったことは「自分で決めることが増えた」ことでし  
た。就職をどうするか、どこに住むか、何を食べるか、全部自分で考えて、選  
ばなければなりません。

こうこう だいがく おや せんせい おし いま じぶん ひとり き  
高校や大学では親や先生がいろいろ教えてくれていたので、今、自分一人で決  
めるのはとても大変です。

さいしょ じぶん えら じしん しっぱい だれ  
最初は、自分の選んだことに自信がありませんでした。失敗しても誰のせいにも  
できません。

じぶん き じぶん せきにん と おも すこ こわ  
「自分で決めたことだから、自分が責任を取る」と思うと、少し怖くなりました  
た。でも、その気持ちが少しずつ「自分で考える力」につながっていったと思  
います。

にほん にじゅっさい おや どうい けいやく  
日本では、20歳になると親の同意がなくても契約ができますようになります。  
たとえば、スマートフォンの契約やアパートを借りる契約、クレジットカード  
の申し込みなども一人でできます。

わたし けいやく ことば おお よ  
私は、アパートの契約で、わからない言葉が多く、よく読まずにサインしてし  
まったことがありました。

後日、追加の料金があることに気づき、とても反省しました。  
それからは、何かを決める前に調べたり、人に相談したりするようになりました。  
自分で決めるということは、自由と責任がいつもいっしょにあるということです。  
20代になってから、その意味が少しずつ分かってきました。  
とまどうこともありますが、自分の人生を自分で作っていくのは、とても大切なことだと思います。

## ■お金の使い方

20歳になったとき、私はまだ大学生でした。アルバイトの給料で自由に使えるお金が増えました。最初は、とても自由で楽しい気持ちになりました。  
欲しかった服やゲームを買ったり、友人と外食をしたり、いろいろなことにお金を使いました。  
でも、ある月の終わりに、財布の中にほとんどお金が残っていないことに気がつきました。食費や交通費が足りなくなり、何日かカップラーメンだけで過ごしたこともあります。  
その時、「自由に使えるお金」があるからこそ、きちんと考えて使わなければならないと強く思いました。  
社会に出ると、「見えないお金」がたくさんあることに気づきます。たとえば、家賃、光熱費、保険、税金などです。  
最初は、こうした費用が毎月必要だということをよく分かっていませんでした。  
家を借りる時、礼金や保証金など、一度にたくさんのお金が必要になることにも驚きました。

私は、お金のことで失敗してから、毎月の収入と支出を書き出すようにしました。  
なににどれくらい使っているかを見ることで、「これは本当に必要か？」と考える習慣ができました。

お金の使い方を見直すことで、心にも少し余裕ができるようになった気がします。  
日本では、若い人も家計簿アプリやメモでお金の管理をする人が増えています。

最初は少し面倒かもしれませんが、自分の生活を守るためにとても大切なこと  
だと思っています。  
私も、もう少し早く気づいていればよかったと思っています。

## ■自信をなくした日

私は22歳で大学を卒業し、その年に今の会社に就職しました。  
学生のころとは違い、毎日同じ時間に出社して、責任のある仕事をするのは思  
っていたより大変でした。仕事の流れが早くて、最初の一か月はついていくだ  
けで精一杯でした。

ある日、書類の名前を間違えて、取引先に迷惑をかけてしまいました。そのと  
き上司に注意されて、とても落ち込みました。  
「こんな簡単なこともできないなんて」と自分を責めて、自信がなくなりました。

まわりの先輩たちはテキパキと仕事をしていて、私だけが足を引っばっている  
ように感じました。  
毎日、「明日も失敗するかもしれない」と思って、会社に行くのが少しこわく  
なりました。  
仕事が終わっても気持ちが休まらず、夜もよく眠れませんでした。  
このまま続けられないかもしれないと思ったこともあります。

でも、あるとき先輩が「最初からうまくいく人なんていないよ。大事なのは、  
あきらめないこと」と言ってくれました。  
その言葉に少し元気が出て、「まずは一つずつ覚えていこう」と思えるようにな  
りました。

それからは、わからないことはすぐに聞くようにしたり、手順をノートに書い  
たりして、自分なりに工夫するようにしました。毎日少しずつできることが増  
えていきました。  
今でも失敗することはあります。でも、失敗から学べることもたくさんありま  
す。あのとき、こわくても逃げずに続けたことは、私にとって大きな自信にな  
りました。

20代の今だからこそ、成長するチャンスを大事にしたいと思っています。

## ■友だちとの関係

20代になってから、一番さびしいと感じたことは、友だちに会う回数が少なくなりました。

学生のころは、学校で毎日のように友だちと話していました。

休み時間や放課後に、何気ない会話をするのが楽しかったです。

でも、社会人になると生活のリズムがばらばらになり、仕事が終わる時間も違います。

土日仕事の人がいったり、引っこして遠くに住んでいたりして、なかなか会えなくなりました。

連絡をしても、予定が合わずに会えないことが増えました。

最初は、「自分だけ仲間はずれにされたのかな」と不安になりました。

でも、あるとき同じように感じていた友人と話すことができて、「みんな忙しいだけなんだ」と気づきました。

また、友だちが減ったと思っていたけれど、逆に「本当に大切な人」が見つかるきっかけにもなりました。

たまにしか会えなくても、正直な気持ちを話せる友人がいることが、どれだけありがたいかわかるようになりました。

そして、「一人の時間」を楽しめるようになりました。

読書をしたり、料理をしたり、自分のペースで過ごす時間が、今ではとても大切です。

社会人になると友人関係が変わることはよくあることです。

それをさびしいと思う人も多いですが、人とのつながりの形が変わるだけだと、今では前向きに考えられるようになりました。

## ■時間の使い方

20代になってから、毎日がとても早く過ぎていくように感じます。

朝起きて会社に行き、帰ったら食事とお風呂、そしてすぐに寝るという生活のくり返しでした。気がつくと、1週間、1か月があっという間に終わっていました。

ある休日、特に予定もなく1日中家で過ごしたことがありました。

テレビを見て、スマートフォンをさわって、気がつく<sup>き</sup>と夜<sup>よる</sup>になっていました。  
そのとき、「今日<sup>きょう</sup>は何もしていないのに、1日<sup>いちにち</sup>が終わってしまった<sup>お</sup>」と、少し後悔<sup>こうかい</sup>しました。ゆっくりする時間<sup>じかん</sup>も大切<sup>たいせつ</sup>ですが、何かひとつでも意味<sup>いみ</sup>のあることがしたい<sup>おも</sup>と思いました。

本<sup>ほん</sup>を読む<sup>よ</sup>、料理<sup>りょうり</sup>をしてみる、少しだけ外<sup>そと</sup>を歩く<sup>ある</sup>など、小さなことでもいいから自分のために時間<sup>じぶん</sup>を使うように意識<sup>いしき</sup>しました。  
仕事<sup>しごと</sup>だけで1日<sup>いちにち</sup>が終わってしまうのは、少しもったいない<sup>すこ</sup>と感じる<sup>かん</sup>ようになりました。

自分のために使う時間<sup>じぶん</sup>は、心<sup>つか</sup>を元気<sup>じかん</sup>にしてくれる大切な時間<sup>ころ</sup>だと思います。  
時間<sup>じかん</sup>は、使い方<sup>つか</sup>ひとつで人生<sup>じんせい</sup>に大きな違い<sup>ちが</sup>をもたらします。  
同じ1時間<sup>おな</sup>でも、何<sup>い</sup>をするかによって得<sup>え</sup>られるものはまったく異<sup>こと</sup>なります。  
だからこそ、日々<sup>ひび</sup>の時間<sup>じかん</sup>の使い方<sup>つか</sup>を少し意識<sup>かた</sup>するだけで、自分の未来<sup>すこ</sup>は大きく変わ<sup>いしき</sup>っていくのです。

20代<sup>にじゅうだい</sup>の今<sup>いま</sup>、自分<sup>じぶん</sup>にとって大切<sup>たいせつ</sup>なことに時間<sup>じかん</sup>を使うことで、これからの人生<sup>じんせい</sup>がもっとよくなると信<sup>しん</sup>じています。

## ■これからの人生<sup>じんせい</sup>

20代<sup>にじゅうだい</sup>になってしばらくは、不安<sup>ふあん</sup>なこともたくさんありました。  
仕事<sup>しごと</sup>、人間関係<sup>にんげんかんけい</sup>、お金<sup>かね</sup>。どれも簡単<sup>かんたん</sup>ではなく、「大人<sup>おとな</sup>になるって、思ったより大変<sup>おほ</sup>だな」と感じる<sup>おも</sup>ことが多かったです。

でも、いろいろな経験<sup>けいけん</sup>を通して、今<sup>いま</sup>は「自分の人生<sup>じぶん</sup>をどう作<sup>つく</sup>っていくかは自分次第<sup>じぶん</sup>だ<sup>しだい</sup>」と思<sup>おも</sup>えるようになりました。  
これから先<sup>さき</sup>、たくさん<sup>せんたくし</sup>の選択<sup>せんたく</sup>肢<sup>し</sup>があります。  
何<sup>なに</sup>をするか、誰<sup>だれ</sup>と過<sup>す</sup>ぐすか、どこ<sup>い</sup>に行くか、自分<sup>じぶん</sup>で選<sup>えら</sup>ぶことができます。

最近<sup>さいきん</sup>は、小さな成長<sup>ちい</sup>がとても嬉<sup>せい</sup>しく感<sup>しょう</sup>じられます。たとえば、人前<sup>ひとまえ</sup>で話<sup>はな</sup>すのが苦手<sup>にがて</sup>だったのに、少しづつ自信<sup>すこ</sup>をもって話<sup>はな</sup>せるようになったこと。  
毎月<sup>まいつき</sup>少しづつ貯金<sup>すこ</sup>ができるようになったこと。料理<sup>りょうり</sup>が上<sup>じょう</sup>手<sup>ず</sup>になったこと。

どれもすぐにできたわけではありませんが、少しづつ続<sup>つづ</sup>けることで変化<sup>へんか</sup>が見<sup>み</sup>えるようになりました。

これからやってみたいことも、たくさんあります。

たとえば、日本語を学ぶ外国の方と交流して、文化の違いを知ること。

語学を学んで、海外で働くことにも興味があります。

ボランティア活動にも参加してみたいです。誰かの役に立つことができれば、きっともっと自分に自信がもてると思います。

20代はとても大切な時期だと思います。不安や失敗もあるかもしれませんが、それもぜんぶ経験です。その経験が、自分の未来を作っていきます。私は今、これからの人生にワクワクしています。

何が起きるかわからないからこそ、前向きに、楽しみながら歩いていきたいです。

20代という時間を、自分らしく、大切にすごしていこうと思います。

「20代になって痛感すること」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それではまた、別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

